

議 事 録

会議名	山梨がんピアサポート希望の会 第28回定例会
日 時	2013年8月24日（土） 10:00～12:00
	山梨大学医学部管理棟2階中会議室
	K.K・H.K・Y.T・K.W・Y.O・K.S・M.S・Y.K・C.S・K.H・R.S・Y.H・Y.I・N.W・M.K（計15名） オブザーバー：佐藤弥先生 報道：記者1名

議 題	1、第27回定例会と関連した話題 2、第7回山梨がんフォーラム協力をお願い 3、患者が傷つく言葉 4、事例検討 5、のぞみの会懇談会等予定 6、その他 9月・10月のシフトについて 次回定例会日程
-----	---

議事内容

1、について

■遺伝性乳がん・卵巣がん症候群の情報や、すい臓がんの家族性についての登録など、ピアサポーターとして知っておきたいことがあることを確認。

■2013年度山梨県ピアサポート研修会へ協力出来るメンバーを募り、担当の日を決める。

2、について

■がんピアサポートもチーム医療の一員であり、家族・遺族にとっても重要な役割を担っているのではないかと。「チーム医療」をテーマとした今回のがんフォーラムに、のぞみの会のブースを展開して、患者が急性期医療から地域（自宅）に戻った時に、ピアサポートが療養の手助けになるような活動を情報発信する。協力出来る方は、ブース展開を含め、当日のお手伝いをお願いいたします。

3、について

■患者・遺族が第三者から言われて「傷つく言葉」の調査結果（埼玉医科大国際医療センター調査）を参考にして、ピアサポートでの「言葉」の使い方を考えてみる。

一般的によく使われる言葉なので、ピアサポートでも不用意に使ってしまいそうな言葉もある。

自分が言われて傷ついた言葉を振り返り、気をつけて言葉を選ぶこと。また、サポーター同志でチェックしあうことも大切である。詮索ではない寄り添いが、なにより大切である。

4、について

■担当したメンバーが事例を報告、全員で検討する。

緩和ケアとホスピス（終末期医療）が同じ意味合いに取られていて、現在の緩和ケアが正しく理解されていないのではないかと？

2回目以上の相談は、サポーターも話しがスムーズに聴けるように、申し送りなどの体制をしっかりと作っておく。

わかってくれる人に話を聴いて欲しいという相談者は、今後増えていくかもしれない。

がん検診を受けて、結果を待つまでの方や、要精検を告げられた方へのサポートも大切なのでは？
今後、検診施設にもサポート場所を広げたらどうだろうか。

5、について

■懇親会は9月の定例会後に行います（9/15 12:30～）。大勢の会員さんの参加をお願いします。

6、について

■8月20日のピアサポートに拠点病院相談室からの視察がありました。病院内でのサポートへの体制作りが少しずつ進められているのでは・・・。

今回の定例会には、地元報道が取材のため見学にみえました。これからのいくつかの活動を通して報道されるようです。私達の活動をしっかり理解していただき、より広く情報発信されるよう大いに期待します。

■9月・10月のシフト確認。

■次回定例会は、9月15日（日）10:00から山梨大学医学部管理棟中会議室で行う（定例会終了後、場所をかえて懇親会開催）。

次回予定

第29回定例会 9月15日（日）10:00～ 山梨大学医学部管理棟2階中会議室

※定例会後に懇親会を行います。懇親会のみ参加も大歓迎です！

司会：若尾

文責：M.K